

# 「できること」をカタチに、 地域とともに 地域の一員として

認知症の人の「やりたい」や「できること」の実現のために、施設内だけでなく、地域ぐるみで取り組むことを通じて、地域に一人でも多くの認知症への理解者を増やすことを目指します。



かたぎはら  
マスコット  
キャラクター  
かたピー

## 取組全体を通して

施設理念である「笑顔とぬくもりを大切に寄り添いながら、その人らしい暮らしを支えます」に向かって、その人らしさが活かされるような“つながり”を大切にしています。また施設のマスコットキャラクター「かたピー」はみんなに認知症を正しく理解してもらえよう情報発信し、人や地域をつないでいく役割を担っています。



## 活動についての問合せ

- 小規模多機能かたぎはら
  - グループホームかたぎはら
  - かたぎはらケアプランセンター
- 電話 075-393-2200

 かたぎはら  
HPIにて  
活動紹介

## よもぎ活動

認知症サポーターの大原野よもぎ倶楽部の方々と認知症の人が一緒に、畑でよもぎを摘んだり、茶葉の袋詰め、よもぎ製品の製造・販売などにも携わっています。大原野神社の観光客の方々との会話も弾みます。



## 認知症啓発

地域イベントで認知症をテーマとした「かたピー人形劇」、よもぎ倶楽部さんや学校でも認知症サポーター養成講座を行っています。京都市で取り組まれている「京都オレンジ色プロジェクト」への参画も行っています。



## 学生と協働

京都中央看護保健大学校で認知症の授業を行ったり、かたぎはらでボランティア活動もして頂いています。よもぎの茶葉の袋詰めも一緒にしたり、お互いのお祭りにも参加しています。



## 近隣寺院と交流

紫雲山龍淵寺にて七夕や雛まつりのご祈祷、住職のお月見法話、また檀家さん向けに認知症プチ講座を開催したりと様々な交流があります。



## 企業と連携

京都府の認知症にやさしい異業種連携協議会でミートショップヒロ様にお越し頂き、お肉の試食や意見交換することで新商品の開発にも協力をしています。

